

中野区議会報告レポート

中野区議会自由民主党議員
佐野れいじ

平成25年6月4日、私は中野区第2回定例議会において一般質問に立ち、(1) 人事制度の運用について、(2) 中野区土地開発公社について、(3) ごみ収集とその徹底についての3点を質問しました。その質問の内容をお知らせします。(なお、「分限制度」など解説を要する用語の意味は、同時掲載した質問全文の中でふれています。併せてお読み下さい)。



(1) 中野区の人事制度の運用について

佐野：「これまでに職制の改廃を理由とした分限処分により職員が退職した事例はあるか。また、今後少数精鋭による職員2000人体制を実現していく上で、成績が向上しない職員への対応として分限免職制度を活用すべきだ」

区長：「これまで分限処分による退職者はいない。分限処分は民間企業でいえば解雇だ。極めて厳密、慎重に取り扱う必要がある。職員の評価においては、目標と成果による管理を合理的に運用して行くが、分限制度の活用など改善も考えている」

佐野：「他区との比較と合わせて係長試験と管理職試験の受験率と昇任率を伺う。また、区は受験率や昇任率のアップのためにどのように取り組んでいるか」

区長：「管理職受験率は中野区が2.1%、23区平均が2.9%。係長試験では中野区では受験率16.4%、昇任率5.7%。23区平均では受験率15.8%、昇任率6.9%、で、中野区では受験率は高いが昇任率は低い。受験率向上のために勉強会などを設けている」

佐野：「人事考課は5段階と聞いているが、そのランクの割合は」

区長：「最上位15%、上位10%の分布制限があるが、それ以下は制限を設けていない。評価制度の公平性と透明性を確保して行く」

佐野：「区職員の服装規定はあるのか。区民に安心感を与える服装の統一を図るべきだ」

区長：「今は服装規定はないが、今後職員としてふさわしい服装を指導し、改善を図る」